



# 羅針盤

2016年度 第5号  
都立豊多摩高等学校  
進路図書部

2016（平成28）年11月30日発行

## 『迷いながら、強くなる』将棋棋士「羽生善治」の言葉

江戸時代から続く将棋の歴史において、公式戦通算優勝回数歴代単独1位の離れ業を継続中の46歳天才将棋名人です。

彼が書いたこの本では、問題解決に役立つ考え方のヒントを5つの項目に分類して

- ① 読み……判断力と分析力を高める「先を読む力」
- ② リラックス……「いい緊張感」と「悪い緊張感」の見極め方
- ③ チャンスとピンチ……プレッシャーを感じながら腹を据える
- ④ 詰め……勝負の世界は、最後に何があるかわからない
- ⑤ 運……ツキ、流れ、バイオリズムについて

『自分の頭で考えた答えが、人間を強くする。溢れる情報に埋もれない力、答えのない場面でも前に進んでいく力とは……「迷いやミスがあったからこそ、ここまで来ることができた」

一見、意味のなさそうなことでも、マイナスにしか思えないことでも、実は自分に重要な影響がある。これは、数多くの対局が教えてくれた教訓です。今、何か問題に直面していたとして、それが解決できるかもしれないし、残念ながら解決できないかもしれません。

しかし、それを解決しようと頭を絞った経験や過程というのは、後々になっても自分を支えてくれて、やがて財産になるものだと思っています。』と語っています。

この本で名人が『進路』というタイトルで書かれた3ページからの抜粋です。

『—「進路」—自分のレベルに合っているか、という大事な視点

人生には、大きな分岐点があります。その一つが、自分の進路を決めることです。きわめて重要なことですから、慎重に考えて思い悩むものでしょう。また、決めた後にこんなはずではなかったと後悔するケースも珍しくはありません。しかし、飛び込んでみなければ、決断してみなければ、わからない、あるいは見えないことは山ほどあるものです。

もっと具体的なケースで説明します。私は「この会社(大学)に入ったら安泰」、「あの団体(大学)に所属していれば、うまくいく」というのは、ありえないと思っています。現在ある会社(大学)も百年後にはなくなっているか形を変えているのが大部分で、それは「諸行無常」、自然の摂理でもあります。変化やうつろいは人の想像力をはるかに超えているものですし、その法則は時代が変わっても変わらない普遍的なものでもあります。

“類は友を呼ぶ”という言葉があります。一つのグループにいるということは、多かれ少なかれ何か共通項が存在するのではないのでしょうか。そして、そこにいる人たちもそれぞれに進化を続けていきます。極端な例かもしれませんが、草野球をしている人がメジャーリーグの選手たちの仲間に入ったとします。あまりに能力が違いすぎて、その人にとっては“地獄”の環境でしょう。逆に、メジャーリーグの人が草野球に参加しても物足りなく退屈でしょう。居心地というのは、能力だけで決まるわけではありませんが、一つのグループにいたとしても、人によって“天国”にも“地獄”にもなるのです。また、環境は不変のものでなく、時間と共に変わる可能性もあります。“地獄”だと思っていたとしても、そのグループの中で自分とほかの人との共通項をたくさん見出すことができれば、“天国”に変わるはずで、自分の現在の状態に合った

グループ、進路を見つけることはとても重要なのです。そして、リーダーシップのある人というのは、所属したグループの人々や本人も快適な環境に導くことができる人だと思います。まさに、“朱に交われれば赤くなる”ですね。』

3年生：最後まで「基礎・基本」の反復学習を継続して最後の伸びを信じることです。最後まで学校の授業を一番大切に生活のリズムを守った人がきっと成功するでしょう。

2年生：受験モードへの切り替え時期とよく言われますが、何も特別なことはいりません。進路を明確に意識する気持ちと普段の授業への集中した学習を見直すだけです。家庭学習時間の確保も。

1年生：2年生と同様に日々の授業への取り組みをしっかりとすること。慣れてしまった学校生活を生き生きと過ごせるよう少し先の自分を思い描いてみてください。

さて、寒くなり、放課後廊下で勉強していると手がかじかんでくるようになりました。3年生はこの時期、思ったように勉強が進まず、気持ちばかりが焦る人、焦った結果、夜遅くまで勉強をし、朝起きるのがつらくなっている人がふえているのでは、と思われれます。入試は最後は体力と気力との戦いです。朝9時頃から始まる入試に、頭の回転がベストになるよう（起床後3時間後くらいからフル回転になるとか）6時起床を意識し、きちんと食べ、睡眠をとり、体力を温存するよう心がけましょう。また受験校を決定し、受験スケジュールを立てる時期になりました。この3月に卒業した先輩達の受験アドバイスを紹介します。先輩達の生の声です。きっと励まされ、参考になると思います。

#### 【応援してるよ！】メッセージ by 68期生

- ・過去問を沢山解いて形式に慣れておいた。
- ・負けん気は誰にも負けないくらいあった。起きているときは勉強していた。全力で打ち込めたと胸を張って言える。
- ・センターがダメでも、一般入試には関係ない。
- ・2日連続は1回のみで、センター利用などで心のゆとりを持たた。
- ・先生とたくさん相談して悩みに悩んで決めてよかった。センター2日連続で、ものすごく疲れたし精神的に参ってしまっていたから、受験校を増やしていたら多分大変だった。
- ・それぞれの学校で問題の傾向が違うので、それに慣れるため入試と入試の間は1週間開けた。
- ・D判定以下でも合格する。出願をしておいて本当に良かった。
- ・第1志望の学校は最初に受けないようにする。他のところで1回雰囲気を知ってからの方がよい。
- ・ダメもとだったけど、望みが少しでもあったから受けて良かった。
- ・大学のレベルがだんだん上がるような日程を組む。
- ・テストの日程を詰めすぎなかったことがよかった。
- ・3日連続はきつい。
- ・最後まであきらめないで頑張った。1月以降からの追い上げができた。受験日の早い大学に1つ合格したことで、気持ちに余裕ができて、落ち着いてその後の試験に挑めた。
- ・徐々に難易度が上がるように受験日を組むと良い。当日は忘れ物をしないように十分に気をつける。
- ・私大センター利用で8から9割取らないと受からない大学は、センター試験のための勉強をするより、個別入試の過去問中心に、何度も解き直し勉強した方がよかった。
- ・センター利用入試と一般入試の受験料を払うタイミングがうまく調節できていなくて、無駄に受験料を払ってしまった。勉強時間を割いてでも、きちんと計画をたてることは重要だと思った。